令和６年　産科診療所の特別調査

調査主体：日本産婦人科医会

産科診療所の現状を把握するとともに分娩の保険適用の議論に備えるため、まことに恐縮でございますが、
９月 30 日（月）までにご回答をいただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。
<お問い合わせ先>　日本産婦人科医会 事務局 ： メール jimu@jaog.or.jp　　電話 03-3269-4739

（１）貴院の基本情報についてお教えください。

現在、分娩を取りやめている施設は☑をお願いします。　□ 分娩を取りやめた
（分娩を取りやめている場合は以降の設問はご記載不要です。）

院長先生の年齢	□□ 歳	開業年	□□□□ 年（西暦）		
開設者の種類	□ 個人 □ 医療法人・その他	主たる診療科（いずれかに✓）	□ 産婦人科 □ 産科 □ 上記以外（　　）	左記以外の標榜科	□ なし □ あり（　　）

（２）前年度・前々年度の財務状況をお教え下さい(年次決算書に基づいてご記入下さい)。

（ご記入が可能な部分のみで結構です）※各項目については p.3 の補足説明をご覧ください。

◎前年度は、令和５年４月～令和６年３月（2023 年4月～24 年３月）の間に終了する年度
◎前々年度は、令和４年４月～令和５年３月（2022 年4月～23 年３月）の間に終了する年度

I. 収益　（該当しない項目は空欄でなく、必ず「0」をご記入ください）

		前年度（令和５年度）											前々年度（令和４年度）										
		十億	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	一	円	十億	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	一	円
収益	入院収益											円											円
	外来収益											円											円
	その他の医業収益											円											円
	医業収益　計（a）											円											円
	医業外収益　（b）											円											円
	うち補助金収益（新型コロナウイルス感染症、物価高騰関連の補助金を含む）											円											円

II. 費用　（該当しない項目は空欄でなく、必ず「0」をご記入ください）

		前年度（令和５年度）											前々年度（令和４年度）										
		十億	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	一	円	十億	億	千万	百万	十万	万	千	百	十	一	円
費用	医薬品費											円											円
	材料費											円											円
	給与費											円											円
	委託費											円											円
	減価償却費											円											円
	その他の医業費用（上記以外）											円											円
	医業費用　計（c）											円											円
	医業外費用　（d）											円											円

経常利益　（a）＋（b）－（c）－（d）											円											円	

続いて p.２にご回答ください。

（3）施設の基本情報や分娩についてお教えください。（※が必須項目です）

※問１．届出病床数と入院患者数をお答えください。（記入日時点。０の場合は「０」と記入）

届出病床数	入院患者数（新生児は含まない）
床	人

問２．貴院の診療の現状についてお教えください。ご記入が可能な部分のみで結構です。

① 延べ患者数（外来、入院） (貴院の会計年度の前年度、前々年度の1年間) ※延べ数とは外来患者は1年間の総数、入院患者は毎日24:00に入院している入院患者数の1年間の合計	前年度 令和５年度(2023年度)　前々年度 令和４年度(2022年度) (1) 外来患者延べ数　人　人 (2) 入院患者延べ数　人　人
② 分娩取扱件数　帝王切開数　連携 (2023年4月～2024年3月までの1年間)	※(1) 分娩数（年間）　件 うち硬膜外麻酔下の無痛分娩　年間　件 ※(2) 帝王切開の実施数　年間　件 (3) 地域の病院等への搬送件数　年間　件 (4) 地域の病院からの逆紹介数　年間　件
③ 不妊治療　地域活動	(1) 不妊治療　①一般不妊治療管理料の届出　□ あり　□ なし ②生殖補助医療管理料の届出　□ あり　□ なし (2) 地域貢献活動（過去1年間）当てはまるものすべて □ 学校保健活動　□ 市民公開講座や地域セミナー等での講師 □ その他（　　）

問３．従事者数（該当する職種に従事者がいない場合は「０」をご記入ください）

	※医師（院長先生含む）	うち常勤医師数	うち麻酔医	うち小児科医
常勤換算	人	人	人	人
	助産師	看護師	准看護師	※医師を含む職員総数
常勤換算	人	人	人	人

ご意見（自由記載）抱える課題、今後の展望、分娩の保険適用について等

ご回答まことに有難うございました。

財務の項目に関する補足説明

損益計算書の医業収益および医業費用について：

- 個人立は青色申告決算書又は収支内訳書(令和４年度分及び令和５年度分)からご記入ください。
  法人は法人税申告書に添付した損益計算書(直近の年度)をもとに記入ください。
- 医業収益は、入院収益と外来収益が分かれていない場合、毎月の社保、国保の請求書の総括票を集計して記入ください。（減点や過誤調整による誤差は無視してください）
- 医業費用は、項目の分離ができない場合は合計をご記入ください。
- 家計分は含めないでください。

（ご記入が難しい場合で、税理士・会計士に外部委託されている診療所は依頼をご検討ください。）

Ⅰ．収益

医業収益	入院収益 （自費診療を含む）	入院患者の医療に係る保険診療収益（保険者請求分＋公費負担医療にかかる支払基金・国保連等に対する請求分＋窓口徴収分）、公害医療、労災保険、自動車損害賠償責任保険、自費診療、特別室の特別料金徴収額、特別食費など。
	外来収益 （自費診療を含む）	外来患者の医療に係る保険診療収益（保険者請求分＋公費負担医療にかかる支払基金・国保連等に対する請求分＋窓口徴収分）、公害医療、労災保険、自動車損害賠償責任保険、自費診療など。
	その他の医業収益	学校医・産業医・当番医手当、健診、予防接種、受託検査収益、臨時に他の医療機関を手伝って得た診察受託料、主治医意見書作成料、文書料（診断書料）など
医業収益　合計 **(a)**		入院収益、外来収益、その他の医業収益の合計
医業外収益 **(b)**		受取利息、配当金、有価証券売却益、補助金収益、患者外給食収益、など。

Ⅱ．費用

医業費用	医薬品費	該当する事業年（度）に消費した**医薬品**（**投薬用薬品、注射用薬品**（血液、プラズマ含む）、**外用薬、検査用試薬、造影剤など**）の金額。 損益計算書で「医薬品費」を独立科目として表示していない場合は、その事業年（度）の医薬品購入額。
	材料費 （給食材料費を含む） ※医薬品費とまとめておられる場合は合算でも結構です。	**診療材料費**（カテーテル、縫合糸、レントゲンフィルムなど）。 **医療消耗器具備品費**（医療用の器械・器具のうち、注射針、注射筒・ゴム管・体温計など1年以内に消費されるものまたは固定資産の計上基準額に満たないもの）。 **給食用材料費**
	給与費（賞与などを含む）	常勤および非常勤役職員に支給した**給料**（諸手当を含む）、**賞与**（期末手当等の一時金を含む）・**賞与引当金繰入額、退職金・退職給付費用**、及び**法定福利費**（社会保険料（子ども・子育て拠出金を含む）、労働保険料の事業主負担額） 給料・賞与・退職金は、所得税や社会保険料本人負担額等を差し引く前の額。 法人の役員又は個人事業の専従者に支給した給与費も含む。
	委託費	検査、患者給食、寝具、清掃、医事、医療廃棄物、警備、各種医療器械保守などの**外部に委託した**費用。
	減価償却費	建物、建物附属設備、医療機器等の年間減価償却費。
	その他の医業費用	**上記に含まれない医業費用**（例えば、福利厚生費、旅費交通費、通信費、広告宣伝費、消耗品費（事務用品費を含む）、水道光熱費、土地建物等貸借料、医療機器リース料、租税公課など）
医業費用　合計 **(c)**		医薬品費、材料費、給与費、委託費、減価償却費、その他の医業費用の合計
医業外費用 **(d)**		支払利息、患者外給食用材料費、診療費減免額　など

経常利益 **(a)+(b)-(c)-(d)**	医業収益 合計 (a)＋医業外収益 (b)－医業費用 合計 (c)－医業外費用 (d)